

東京銀行協会

設計: 横河工務所
竣工: 大正3年(1914)
住所: 東京都千代田区丸の内1-3
交通: JR東京駅徒歩3分



ビルの下の部分に注目!! 丸の内レンガ街の中で、唯一残った建物である。
濃い小豆色のレンガに白い御影石の配色, 角に突き出した三角屋根の塔、それでいて、明治時代の建物特有のいかめしさがなく、大正浪漫時代にふさわしい上品な雰囲気漂わせている。
老朽化したのと手狭になったため、取り壊しも検討されたが、外壁だけ残して内部を高層ビルとすることで、かろうじてレンガ壁の外観を保った。しかし、鋳鉄製の車寄せが撤去されてしまったのが惜まれる。
なお、お堀に面したこの日比谷通りには、第一生命ビルや明治生命ビルなどの名建築が比較的残っているし、カルガモ親子で有名になった三井物産ビルや平将門の首塚もすぐそばにあるので、半日程度の散策によいかもしい。

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。

雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。